

2012-4-7

推薦できるフランス語辞書

フランス語専攻 敦賀 陽一郎

新入生のための辞書紹介であるが、中学、高校ではないのでかなり上のレベルの辞書も紹介する。そして、特にお薦めの参考書も少し紹介する。以下、特薦はゴチック下線にして指示。

I. 仏和辞典

1. 『ロワイヤル仏和中辞典 [第2版]』 旺文社, 2005年, 6,300円.
[小型の辞書を1冊買うならこれを薦める。一番詳しく用例も多い。]
2. 『白水社ラールス仏和辞典』 白水社, 2001年.
[語彙 8000 語程度の基本用語辞典。これは上の『ロワイヤル』の代わりにはならない。]
3. 『ディコ仏和辞典』 白水社, 2003年
4. 『クラウン仏和辞典・第6版』 三省堂, 2006年.
[3,4は用例も多く分かりやすいが、学習辞書の限界がある。]
5. 『新スタンダード仏和辞典』 大修館書店, 1987年.
[少し前までの最上の仏和。かなり詳しいが用例が少ない。訳語は今でも参考になるものがある。]
6. 『小学館ロベール仏和大辞典』 小学館, 1988年初版 2010年に9刷, 29,400円.
[実はこれが一番いい。情報量は語彙, 文法, 用例で他を圧倒している。頻繁に使うと小辞典を使うことの虚しさを実感するが、そのためにも, 3kg あるので, 机の上に置く場所を確保する必要あり。かなり高いが古本でも出回っている。]

II. 和仏辞典

7. 『コンコルド和仏辞典』 白水社, 1990年.
[今のところ, これのみが推薦できる。]

III. 仏英・英仏辞典

8. [Harrap's Unabridged Dictionnaire Anglais-Français, Français-Anglais](#), Edingburgh, Harrap, 2007.

[これは一番大きい版で、英仏、仏英それぞれ1巻、計2巻。より小さい色々なサイズのものがある。仏英・英仏には仏和・和仏にはない良い点がある。先ず、小さいのを一つ購入して時々見てみることを薦める。]

9. [Le Grand Robert & Collins Dictionnaire Français-Anglais, Anglais-Français](#), Paris, Dictionnaire Le Robert, Glasgow, HarperCollins, 2008.

[これも上と似た大きさだが最近出版された。]

他に、仏独・独仏、仏伊・伊仏、仏露・露仏、仏西・西仏、等、色々ある。

IV. 仏仏辞典

10. 『[Dictionnaire du français contemporain](#) [ラールス現代仏仏辞典 複製版](#)』駿河台出版, 1979年, 2,800円.

[語彙30000語程度の基本語辞書。口語フランス語も重視。これをひき潰すことを勧める。初めはフランスで出たが今では日本でしか手に入らない。1年生にも購入することを勧める。2年以上にも。]

11. 『[Dictionnaire du français langue étrangère, Niveau 2](#) [ラールスやさしい仏仏辞典](#)』駿河台出版, 1982年, 2700円.

[語彙10000語程度。外国人向けの仏仏辞書。これは上の仏和の2. の元になった辞書。現在は日本でのみ入手可能。]

12. [Le Nouveau Petit Robert 2012, Paris, Dictionnaire le Robert, 2011.](#)

[これ一冊で17世紀から21世紀までの文語フランス語を覆う。毎年改訂して新語を取り入れている。上の仏和6. の元になった辞書。2, 3, 4年, 院生にはお薦め。]

13. [Le Petit Larousse Illustré 2012, Paris, Larousse, 2011.](#)

[毎年改訂される百科事典。カラー写真の色が鮮やかで見ているだけで楽しい。]

14. Thésaurus Larousse, Paris, Larousse, 1992.

15. *Dictionnaire des idées par les mots*, Paris, Dictionnaire le Robert, 1991.

16. *Dictionnaire de synonymes et contraires*, Paris, Dictionnaire le Robert, 1993.

[14, 15, 16 は類語, 同義語, 等をまとめた興味深い辞書。3, 4 年, 院生には是非お薦め。1 年生が背伸びして覗いてみても悪くはない。特に, 英英辞典を既に使ったことのある者にはお薦め。こういう辞書を使いこなすフランス語母語話者も多くない。『広辞苑』をひき潰す作家もいるが, 類語辞書は違う面白みがある。日本語の山口翼編『日本語大シソーラス』大修館書店, 2003 年も推薦したくなった。]

17. *Grand Larousse de la Langue Française*, 7 vols, Paris, Larousse, 1971-1978,

18. *Trésor de la Langue Française, Dictionnaire de la langue du XIX^e et du XX^e siècle*, 16 vols, Paris, Klincksieck, CNRS, 1971-1994.

19. *Le Grand Robert de la Langue Française*, 6 vols, Paris, Dictionnaire Le Robert, 2001.

[17, 18, 19 は大型の仏仏辞典で, 18. が一番詳しいが 19. の方がより新しく改訂されている。図書館, フランス語教育準備室, フランス語共同研究室で手に取って見てみるとよい。]

V. 初級参考書

授業内容を完全に習得すれば十分なので, 現在推薦出来る特に良いものはない。分かりにくいことは遠慮なく授業中に質問するようにしよう。一冊どうしても買うなら次の 20. を薦める。

VI. 中・上級参考書

20. 朝倉季雄著, 木下光一校閲『新フランス文法事典』白水社, 7,800 円.

[日本語で書かれた参考書として一番詳しいもの。内容も基礎から上級までを含むので 1 年生にも薦められる。過去のフランスでの研究書・論文を調べ, 更に多くの実例を調査した文法書。日本人の視点からの観察も有益である。]

21. GREVISSE, Maurice, André GOOSSE : *Le Bon Usage*, 14^e éd., Bruxelles, Deboeck, Duculot, 2008.

[フランス語で書かれた一冊本では最も詳しい。書名(「正用法」)にもかかわらず, 「標準」から外れた用法も数多く提示, 説明されている。著者はベルギー人。14 版

から大きな版になって一層重たくなった。1600 p. もある。]

22. RIEGEL, Martin, J.-C. PELLAT, R. RIOUL: [Grammaire méthodique du français](#), Paris, PUF, 2009.

[現在フランスで標準的な文法書とされているもの。言語理論をも配慮し、参考文献の指示も項目ごとに詳しい。]

VII. 上級和文仏訳参考書

23. [大賀・メランベルジェ『和文仏訳のサスペンス』](#)白水社, 2,500 円.

[これはかなりレベルが高いため3,4年生, 院生, あるいは博士号取得者にもお薦め。レベルは高いが読んでいて楽しいことは保証する。やる気があれば, 1年生2学期, 2年生でも楽しめる。]

24. [メランベルジェ『宮沢賢治をフランス語で読む』](#)白水社, 2,400 円.

[上の 23. と同様にかなりレベルが高い。文学作品の翻訳で基本的誤りをしないとはどういうことかが実感できる。]

それではフランス語の世界を楽しんでみよう。しかし、目標は辞書ではない。フランス語を修得して何をするかを考えよう。